

**株式会社バンダイナムコフィルムワークス
株式会社創通**

2024年5月8日

サンライズロボットが集結するWEBサイト『サンライズロボット研究所』開設！

映像、資料、連載などの各種要素を総合的に網羅し、
新規に制作された『聖戦士ダンバイン』の映像も本日公開！

株式会社バンダイナムコフィルムワークス(本社:東京都杉並区、代表取締役社長:浅沼誠)、株式会社創通(本社:東京都杉並区、代表取締役社長:難波秀行)は、日本アニメならではの世界観を持つロボットアニメを、オリジナル作品として自由な発想で数多く手掛けてきました。これまでに蓄積された豊富なアーカイブや知見を活かし、日本文化であるアニメーションの魅力を世界に発信していく取り組みの一つとして、このたびサンライズロボットが集結する特設サイト『サンライズロボット研究所』を5月8日(水)に開設しました。このサイトでは、サンライズ作品に登場する、ロボットにフィーチャーして、これまでに生み出されてきたサンライズメカを多角的な視点で研究・推察をし、その魅力を広く発信していきます。

また、同日かつてのロボット作品の中から1983年にテレビ放送された『聖戦士ダンバイン』の「オープニング・エンディング映像」を最新映像技術で振り返る実験動画『AURA BATTLER DUNBINE SIDE L』を公開しました。



『サンライズロボット研究所』外観



実験動画『AURA BATTLER DUNBINE SIDE L』

■『サンライズロボット研究所』とは

『サンライズロボット研究所』は、1977年10月に放送開始された第1作目『無敵超人ザンボット3』から数多くのロボットアニメを創出してきたサンライズ作品に登場する空想上のロボットやメカについて、過去のデータベースや新規の考察などから、多角的な視点での探求点を見出し、より深く研究・推察をしていくため設立された研究機関(WEBサイト)です。

研究成果としては、これまで散見されている設定情報を新解釈としてまとめたものや、作品内の描写、設定をきっかけとした自由な発想の上でのレポートなどを掲載予定です。

今後掲載していく内容がご覧いただいた方の日常のちょっとした楽しみや発見に繋がって「知的探求心」が深まり、“研究員”的一員として本サイトの活動にサポート参加してもらえることを目指しています。また、「研究所」として取り扱っていくロボットについては、サンライズ作品の枠にとらわれず、より拡大していくことを予定しています。

サンライズチャンネルと連動して映像を展開する「映像視聴室」や機体のデータベースを集約していく「資料室」、それぞれの作品の世界観を研究・推察を掲載していく「研究レポート」等から構成されます。

今回は『聖戦士ダンバイン』の世界観を深堀りしたレポートが公開されます。

今後、データベースは継々と更新予定です。

サイトURL:<http://roboken.sunrise-world.net/>

X :@sunrise_roboken



■『サンライズロボット研究所』に連動し、新規映像も公開！／実験動画『AURA BATTLER DUNBINE SIDE L』

1983年にテレビ放送された『聖戦士ダンバイン』を題材とした新規映像、『AURA BATTLER DUNBINE SIDE L』を公開致します。当時のオープニングとエンディング映像を最新の演出と技術を用いて、作品そのものの“普遍性”を発信していくチャレンジ的な“実験動画”です。制作パートナーとして、数々のアニメで実績がある映像制作会社「神風動画」とバンダイナムコフィルムワークスがタッグを組んで制作しています。

『SIDE L』と対をなす『SIDE R』も今後展開予定です。『SIDE R』では「新武器」等の新規設定などが登場し、さらに原作とは異なった音楽アーティストによる最新楽曲が新たなテイストを作品へ吹き込み、新しく作品へ触れる層へも、作品の持つ魅力を“再”発信していきます。

実験動画の“L”、“R”にはそれぞれ複数の意味が込められており、『SIDE L』の“L”には“Legacy”“Legend”といった意味が、『SIDE R』の“R”には“Respect”“Refine”“Revolution”といった意味が含まれています。



今回、一部セリフとナレーションを新録しました。主人公ショウ・ザマ役の中原茂さんとナレーターの若本規夫さんからコメントを頂戴しました。

・中原 茂(ショウ・ザマ役)

あの頃に戻りますタイムラグなしに。ショウは何も変わっていません。

いえ、ショウだけではなく。と言うか、忘れていない事を改めて認識させて頂きました。

今回、『聖戦士ダンバイン』という作品の持つ不思議なパワーのような物を感じられたような気がしております。そしてそのパワーの源の一端は、こうしてダンバインを応援し続けて下さっているファンの皆様の御蔭だと改めて思っています。

皆様のパワー(思い)が集まって『聖戦士ダンバイン』を何時までも飛翔させ続けて下さっています！

・若本 規夫(ナレーター)

冒頭の何とも神秘的な色合いの濃い聖書を彷彿とさせるような響きのあるナレーションを担当させていただき今でも光栄に思っています。

今回、プロモーションビデオのナレーションを演じて感じたことはダンバインのナレーションの字句を読み上げるのは結構難しい作業だな…と。入れ込み過ぎてもいけないし、かと言ってサラーっと流しても表現として成り立たない。テンポ感もなければいけないが、端折ってもまずい。

映像をご覧になったファンのみなさんに喜んでいただけたら嬉しい！

また、株式会社 BANDAI SPIRITS(本社:東京都港区、代表取締役社長:榎原博)も、関連するプラモデル、フィギュア等を展開し、関連作品を盛り上げていきます。

商品情報

『聖戦士ダンバイン』の商品が続々登場予定！

<プラモデル>

設定画や劇中のイメージを踏襲しつつ、現代の立体物としての理想を追求。重厚感とシャープさを両立したシルエット、生物を思わせる関節や翅など、ダンバインが有する複合的な魅力を、現代の HG シリーズ基準で徹底再現！
(1/72 スケール組み立て式プラモデル／接着剤不要。)



(写真左)

商品名:HG 1/72 ダンバイン

※2023年11月発売商品

プレミアムバンダイ販売価格:3850円(税10%込)

プレミアムバンダイホビーオンラインショップにて再販お申込み受付中

(写真右)

商品名:HG 1/72 サーバイン[スペシャルコーティング]

発売日:2024年8月予定

プレミアムバンダイ販売価格:9350円(税10%込)

プレミアムバンダイホビーオンラインショップにて 2024年5月8日(水)よりお申込み受付開始

◆プレミアムバンダイ ホビーオンラインショップ <https://p-bandai.jp/hobby/>

※商品の発送月はお申し込み受付時期によって異なります。

※商品の写真・イラストは実際の商品と一部異なる場合がございますのでご了承ください。

※商品名・商品仕様・発売日・価格などの情報は変更になる場合がございますのでご了承ください。

※品切れの場合がございます。最新のお申込み受付情報は、該当サイト内にてご確認ください。

<TAMASHII NATIONS>
完成品フィギュアシリーズ「ROBOT 魂」にて、ダンバインシリーズ展開中！



(写真左)

商品名:ROBOT魂 <SIDE AB> ダンバイン(サンライズ スピリット)

※2024年2月発売商品

メーカー希望小売価格: 6,600円(税10%込)

サンライズワールドTOKYO・TAMASHII NATIONS STORE TOKYO・TAMASHII SPOT OSAKAの
SUNRISESPIRITS コーナーとプレミアムバンダイ TAMASHII NATIONS STORE ONLINE(<https://p-bandai.jp/tns-online/>)にて販売中。

(写真右)

商品名:ROBOT魂<SIDE AB> ボチューン(フォイゾン王機)

お届け月:2024年11月

メーカー希望小売価格: 7,480円(税10%込)

プレミアムバンダイ魂ウェブ商店にて受注中。

◆プレミアムバンダイ 魂ウェブ商店 <https://p-bandai.jp/item/item-1000209336/>

■『サンライズロボット研究所』開設記念配信

サンライズ作品の無料配信サイト(サンライズ公式YouTubeチャンネル)「サンライズチャンネル(チャンネル登録者数44万人/2024年4月現在)」にて、『サンライズロボット研究所』開設記念配信として下記、作品のリリースが決定しました。

『サンライズロボット研究所』開設記念配信

「聖戦士ダンバイン1話~5話」5月8日(水)12:00~5月15日(水)11:59

「聖戦士ダンバイン6話~9話」5月15日(水)12:00~5月22日(水)11:59

「聖戦士ダンバイン10話~13話」5月22日(水)12:00~5月29日(水)11:59

また、5月29日(水)からはサンライズチャンネルの通常編成にて14話を配信予定です。

これを機に、作品の舞台となる異世界「バイストン・ウェル」の聖戦士達の熱き戦いをご観聴ください。

※『サンライズロボット研究所』の展開内容には、ガンダムシリーズは含まれておりません。

【サンライズブランドとは】

ガンダムシリーズ、ラブライブ！シリーズ、コードギアスシリーズなど、
主にSUNRISE Studios制作のアニメーション作品を中心とする作品
ブランドです。これまで40年以上の長きにわたり、人々の心に響く数々の
オリジナル作品を生み出しています。

※サンライズブランド作品約230作品(ガンダムシリーズ、ラブライブ！シリーズを除く)



■©表示

©創通・サンライズ

※画像素材を掲載・使用される際は、必ず上記の©表示を記載いただきますよう、お願いいたします。